

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

●アンケートまとめ

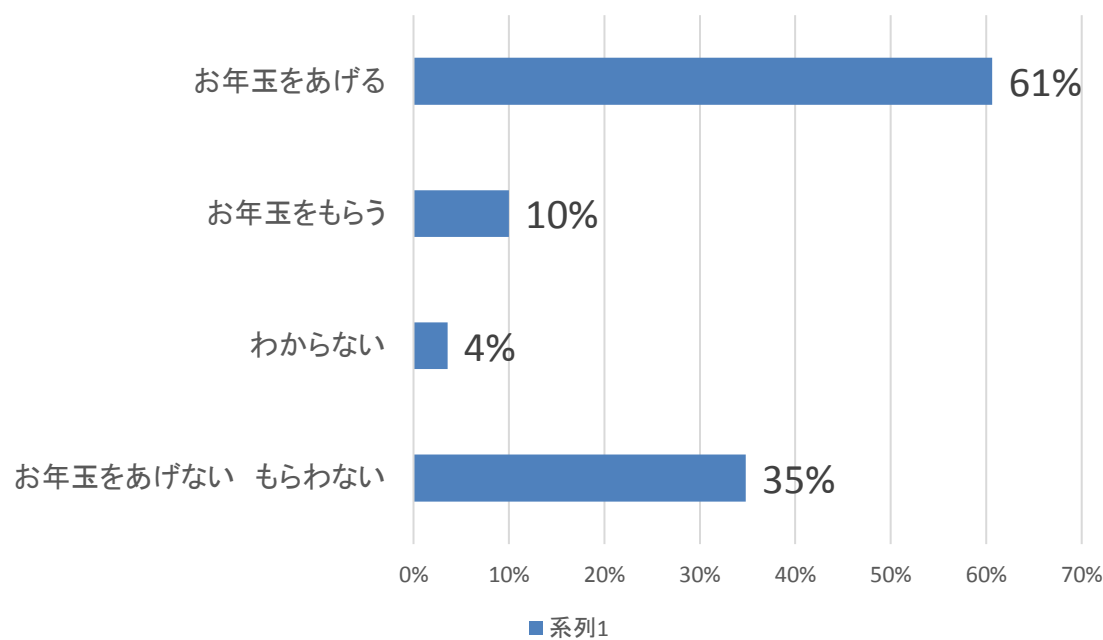
- 今年お年玉をあげる(61%) お年玉をおもろう(10%)
- お年玉をあげる相手は「親戚」「家族」「両親」
- お年玉をもらう相手は「両親」「親戚」「家族」
- 6歳までの額は「5000～1万円」 7～12歳は「2000～4000円」 13～17歳は「4000～7000円」
18歳以上は1万～5万円または「お年玉をあげない」
- お年玉をあげる年齢の上限は「高校生まで」
- お年玉には「慣習」と「ギフト」2つの側面がある

アンケート項目

登録モニターの皆さんに、2013年お年玉に関するアンケートをお願いしました。

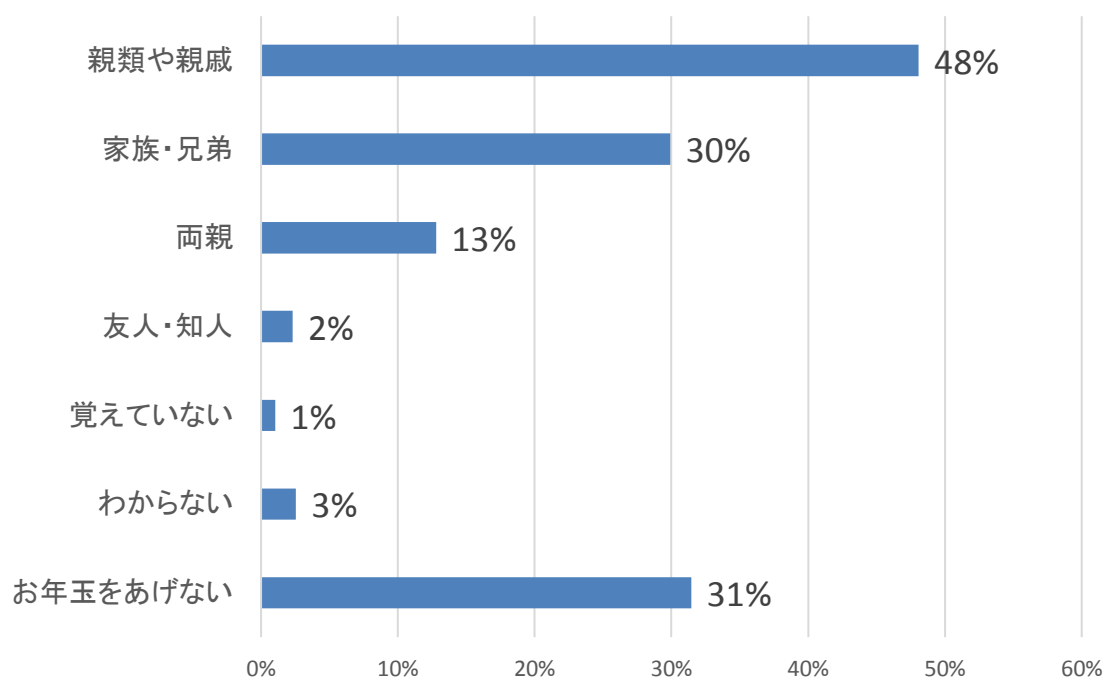
- ①今年のお正月に、お年玉をあげますか?もらいますか
- ②お年玉をあげる場合、どのような立場の人にあげますか
- ③お年玉をもらう場合、どのような立場の人から、もらいますか
- ④【6歳】までの方にあげるお年玉の額はいくらくらい?
- ⑤【7歳～12歳】までの方にあげるお年玉の額はいくらくらい?
- ⑥【13歳～17歳】までの方にあげるお年玉の額はいくらくらい?
- ⑦【18歳以上】までの方にあげるお年玉の額はいくらくらい?
- ⑧お年玉をあげる年齢の上限はいくつだと思いますか?
- ⑨お年玉の思い出、お年玉に対する意見

■質問1 今年のお正月に、お年玉をあげますか?もらいますか? (複数選択 n=391)



今回はお年玉に関するアンケートです。
2013年新年、お年玉に関して
「お年玉をあげる」61%
「お年玉をもらう」10%
でした。

■質問2 お年玉をあげる場合、どのような立場の人にあげますか? (複数選択 n=391)



お年玉をあげる相手に関する質問です。
あげる相手は
1位 親戚・親類(48%)
2位 家族・兄弟(30%)
3位 両親(13%)
となっています。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

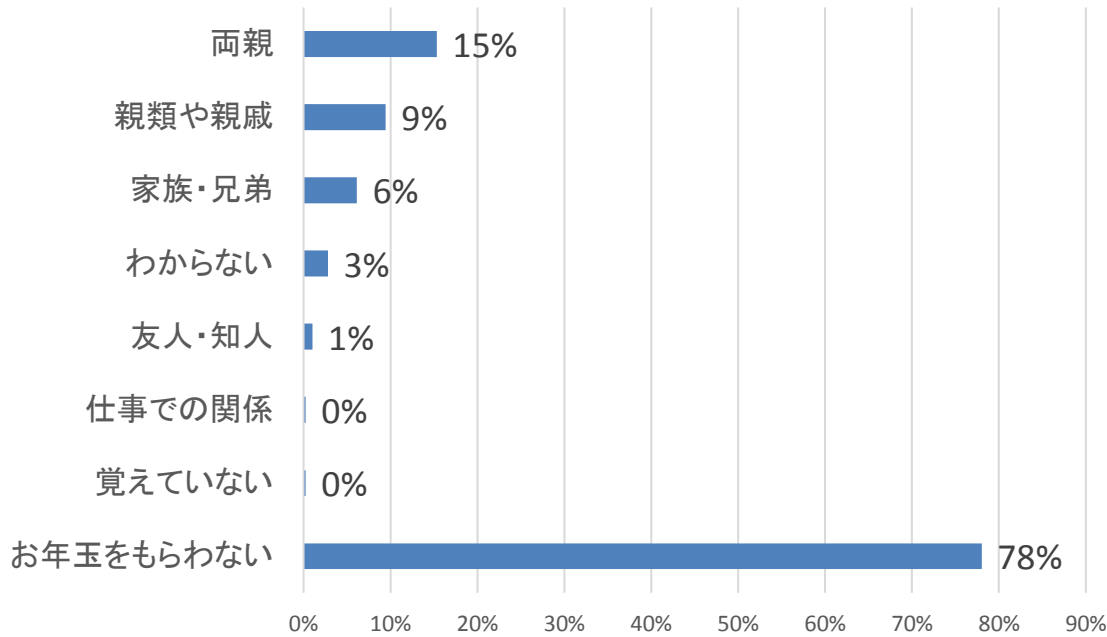
第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

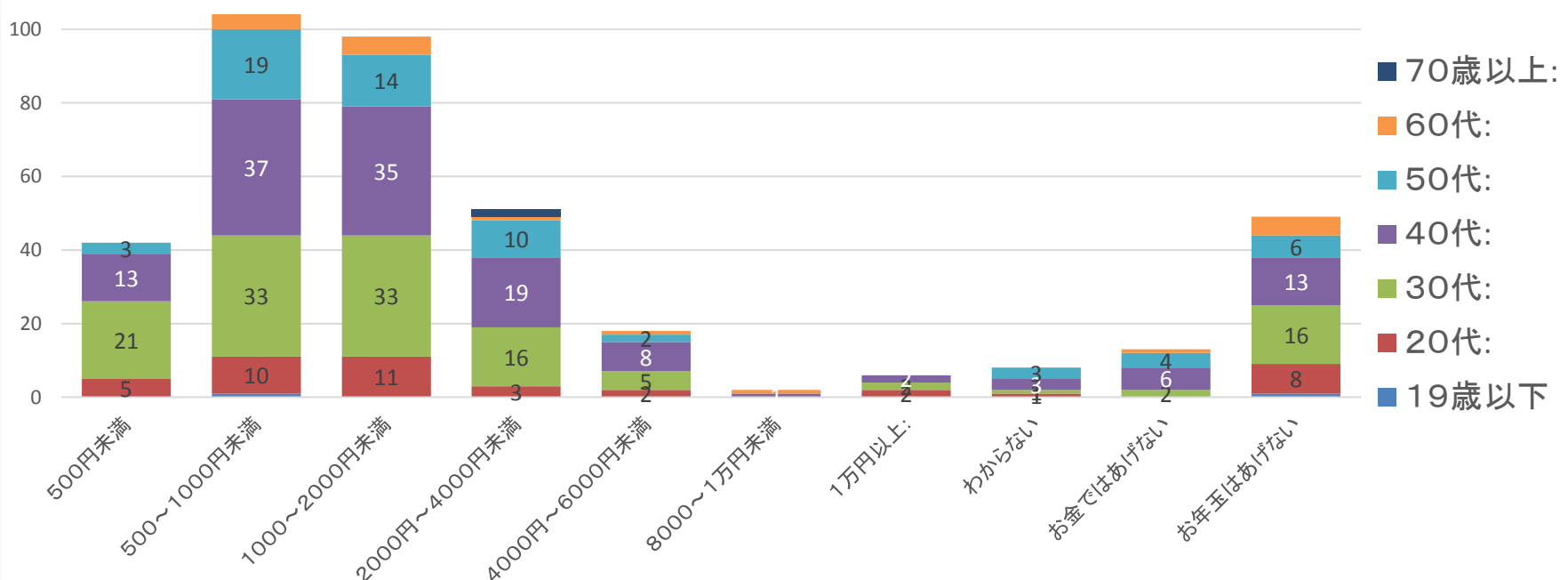
調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問3 お年玉をもらう場合、どのような立場の人から、もらいますか？
(複数選択 n=391)

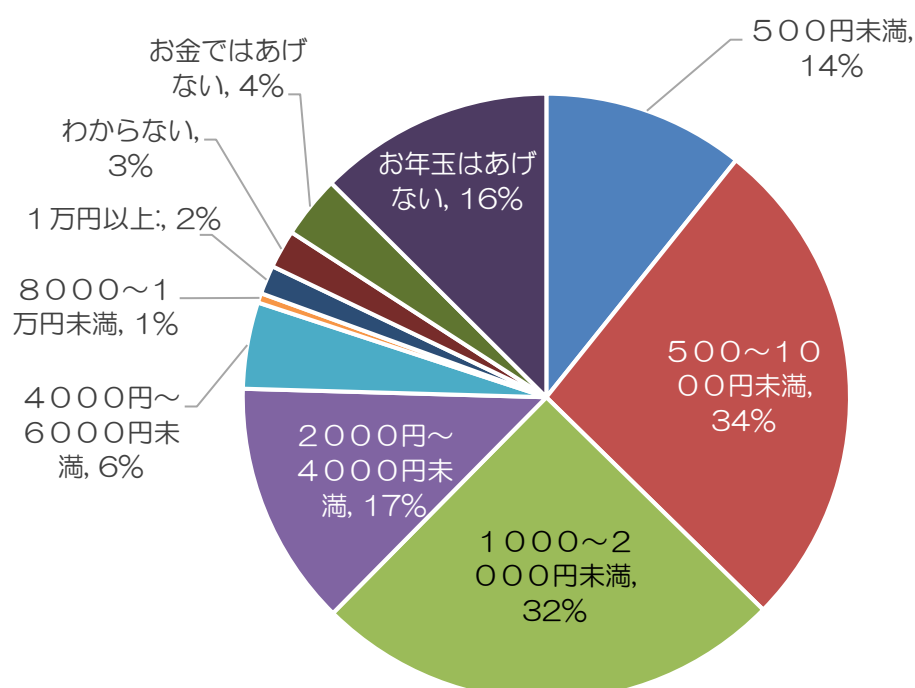


お年玉をもらう相手についての質問です。
1位 両親(15%)
2位 親類・親戚(9%)
3位 家族・兄弟(6%)
となっています。
質問1であるように、「お年玉をもらう」と答えた方は少数であったため、「もらわない」は78%となっています。

■質問4 【6歳】までの年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思えますか？
(単一選択 n=391)



■質問4 【6歳】までの年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思えますか？ (単一選択 n=391)



お年玉の金額に関して聞いています。
【6歳まで】～小学校に入学するまでの子どもさんにあげるお年玉の金額に関して回答者の世代別棒グラフと円グラフで表示しています。

【6歳まで】の子どもへあげるお年玉の金額では
1位 500～1000円未満(34%)
2位 1000～2000円未満(32%)
3位 2000～4000円未満(17%)
となっています。

世代別グラフ(上のグラフ)で見みると
20代、30代の回答者意見は1位・2位僅差で、
6歳までのお年玉では、500円～2000円未満が一般的に
考えられる、お年玉の金額であるとわかりました。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

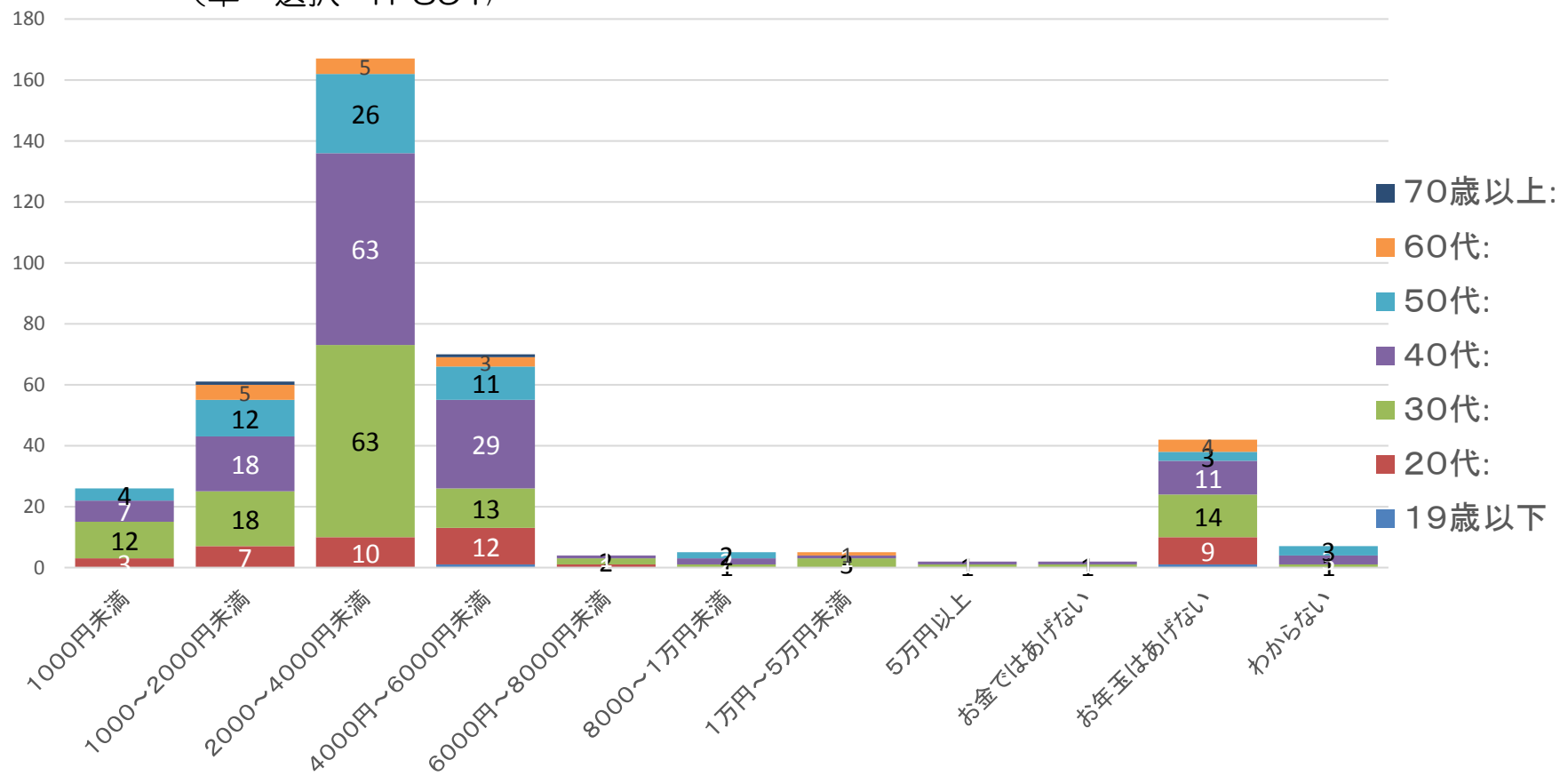
第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

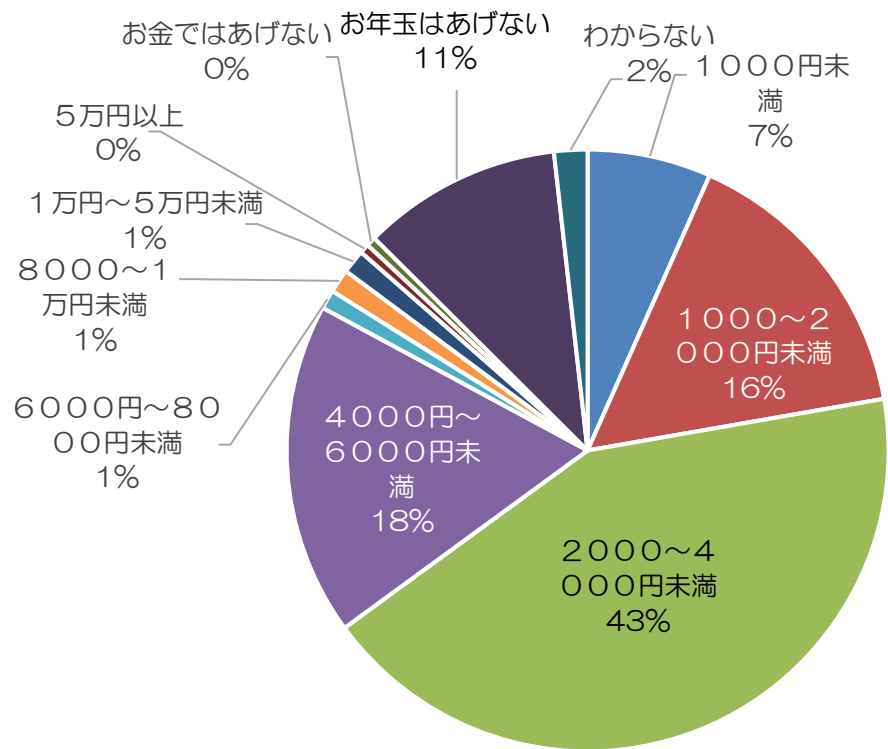
モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問5【7歳～12歳】までの年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思いますか？
(単一選択 n=391)



■質問5【7歳～12歳までの】までの年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思いますか？ (単一選択 n=391)



お年玉の金額に関して聞いています。
【7歳～12歳】～小学生の子どもさんにあげるお年玉の金額に関して回答者の世代別棒グラフと円グラフで表示しています。

【7歳～12歳】の子どもへあげるお年玉の金額では
1位 2000～4000円未満未満(43%)
2位 4000～6000円未満(18%)
3位 1000～2000円未満(16%)
となっています。

回答者の4割以上が「2000～4000円未満」と答えています。
世代別グラフ(上のグラフ)で見みると回答者の世代の多くが2000～4000円未満と答えています。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

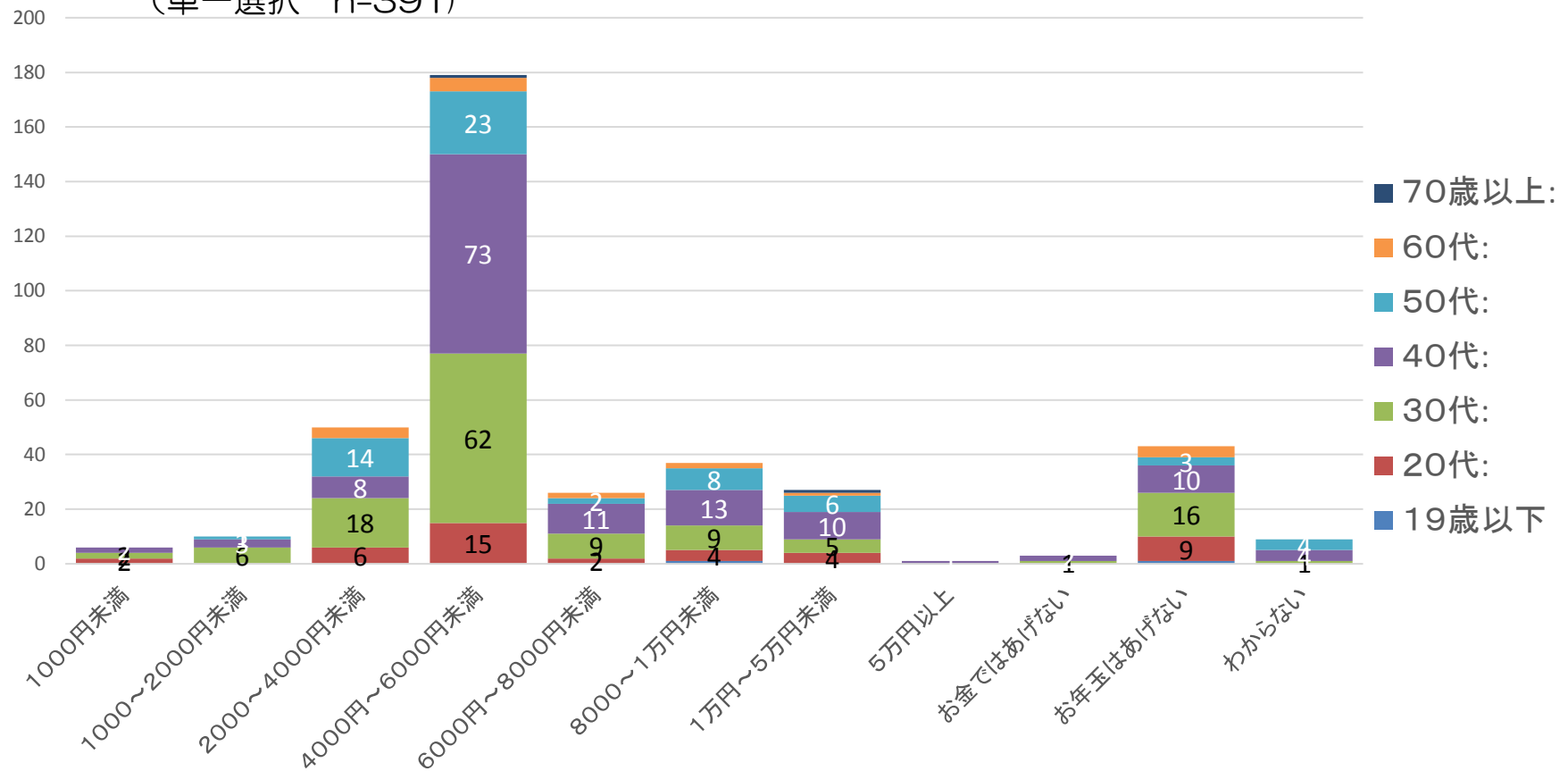
第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

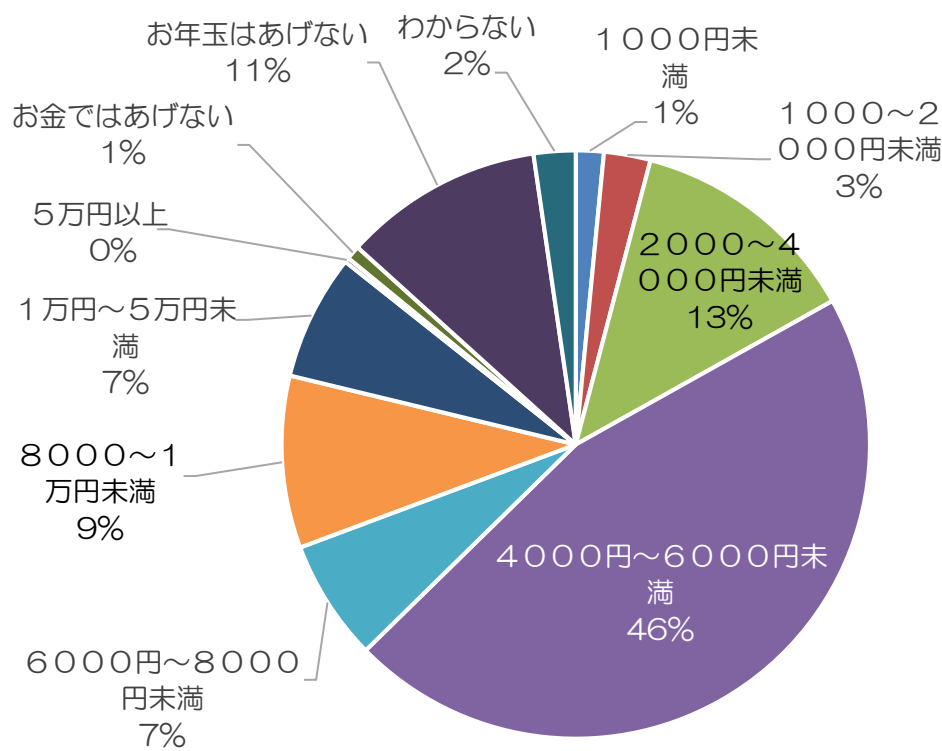
モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターインターネットアンケート

■質問6 【13歳～17歳】までの年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思いますか (単一選択 n=391)



■質問6 【13歳～17歳】までの年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思いますか? (単一選択 n=391)



お年玉の金額に関して聞いています。
【13歳～17歳】～中学生・高校生に当たる年齢の方にあげるお年玉の金額に関して回答者の世代別棒グラフと円グラフで表示しています。

【13歳～17歳】の子どもへあげるお年玉の金額では
1位 4000～6000円未満未満 (46%)
2位 2000～4000円未満未満 (13%)
3位 6000～8000円未満 (7%)
となっています。

回答者の5割近い方が「4000～6000円未満」と答えています。
世代別グラフ(上のグラフ)で見みると「4000円～6000円未満」を中心とした伸び(山)と「8000円～1万円未満」を中心とした伸び(山)があります。

少ない数ではありますが、8000円～1万円を金額と考えている人たちもいると思われます。

※今回は「中学生」「高校生」を年齢で一緒にしていますが、中学生の年齢と高校生の年齢は、わずか5年ですが、お年玉の金額が違っているかもしれません。そのせいでグラフに2つの山ができた可能性があります。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

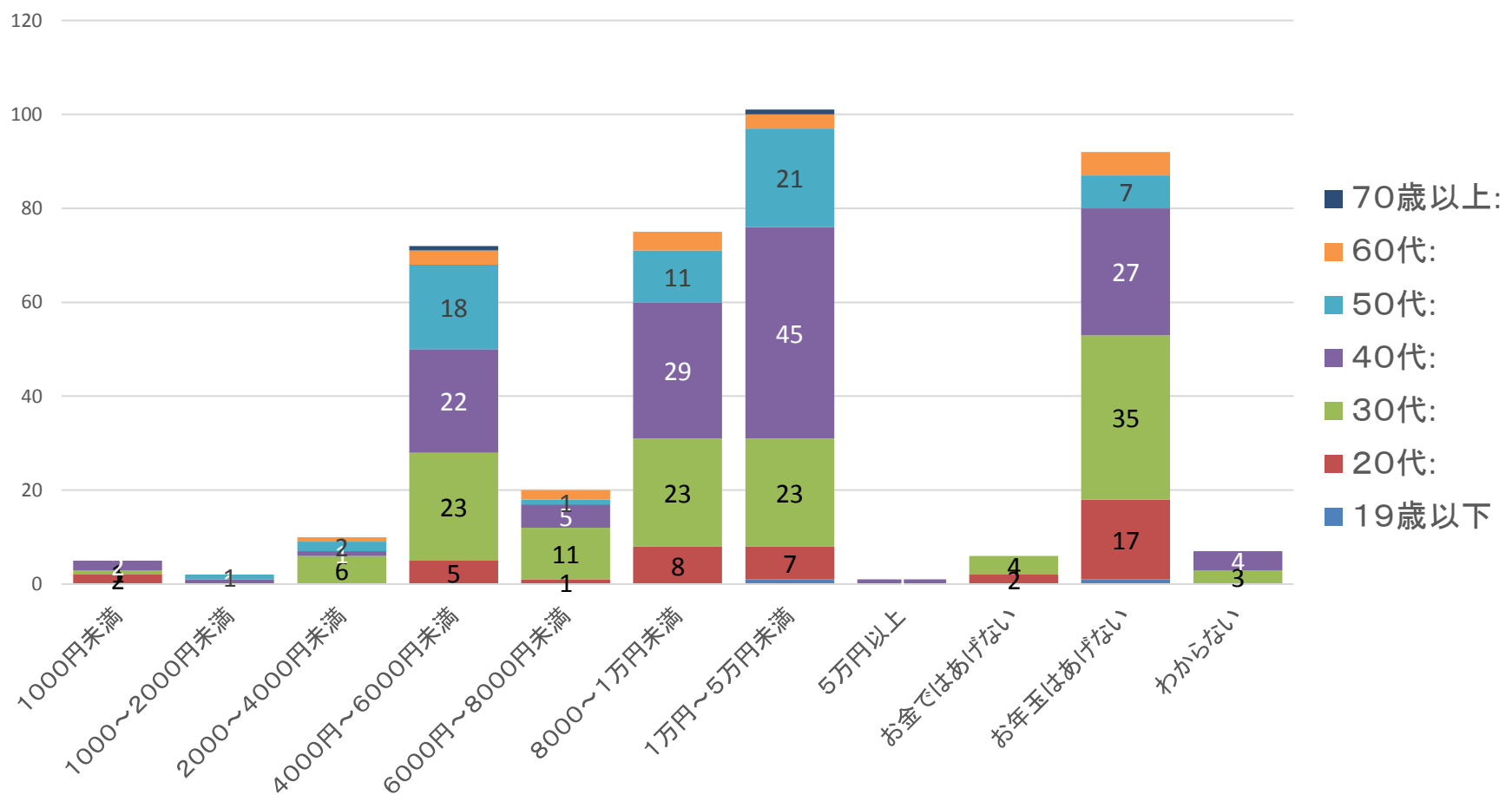
第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

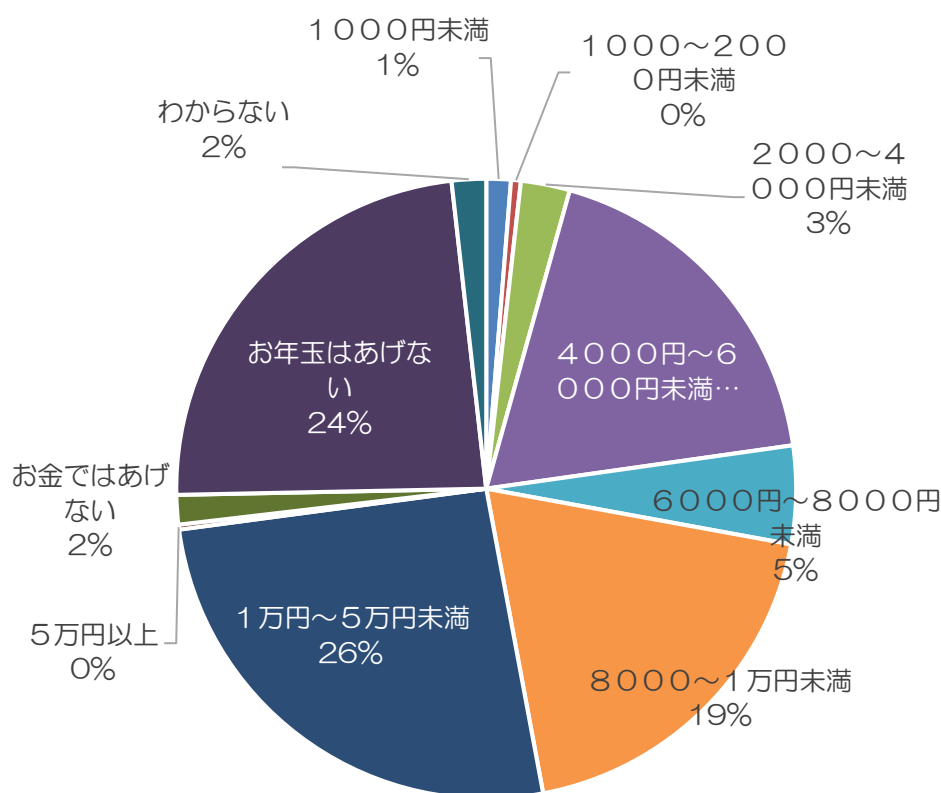
モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターインターネットアンケート

■質問7 【18歳以上】の年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思いますか？
(単一選択 n=391)



■質問7 【18歳以上】の年齢の方に、お年玉をあげる場合、どれくらいの金額だと思いますか？ (単一選択 n=391)



相手に渡すお年玉の金額に関して聞いています。
【18歳以上】～高校生以上に当たる年齢の方にあげるお年玉の金額に関して回答者の世代別棒グラフと円グラフで表示しています。

【13歳～17歳】の子どもへあげるお年玉の金額では
1位 1万円～5万円未満(26%)
2位 お年玉はあげない(24%)
3位 8000～1万円未満(19%)
となっています。

18歳以上にあげるお年玉の金額に関してバラツキができました。
上の棒グラフで見ると
「1万円～5万円未満」を中心とする山と
「4000円～6000円未満」
「お年玉をあげない」の意見に分かれています。
僅差ですが、
20代・30代の回答で一番多かったのは「お年玉をあげない」
40代・50代の回答で一番多かったのは「1万円～5万円」

40代・50代の回答に関しては、実際に該当する年齢の子どもさんがいて、お年玉をあげているかもしれません。

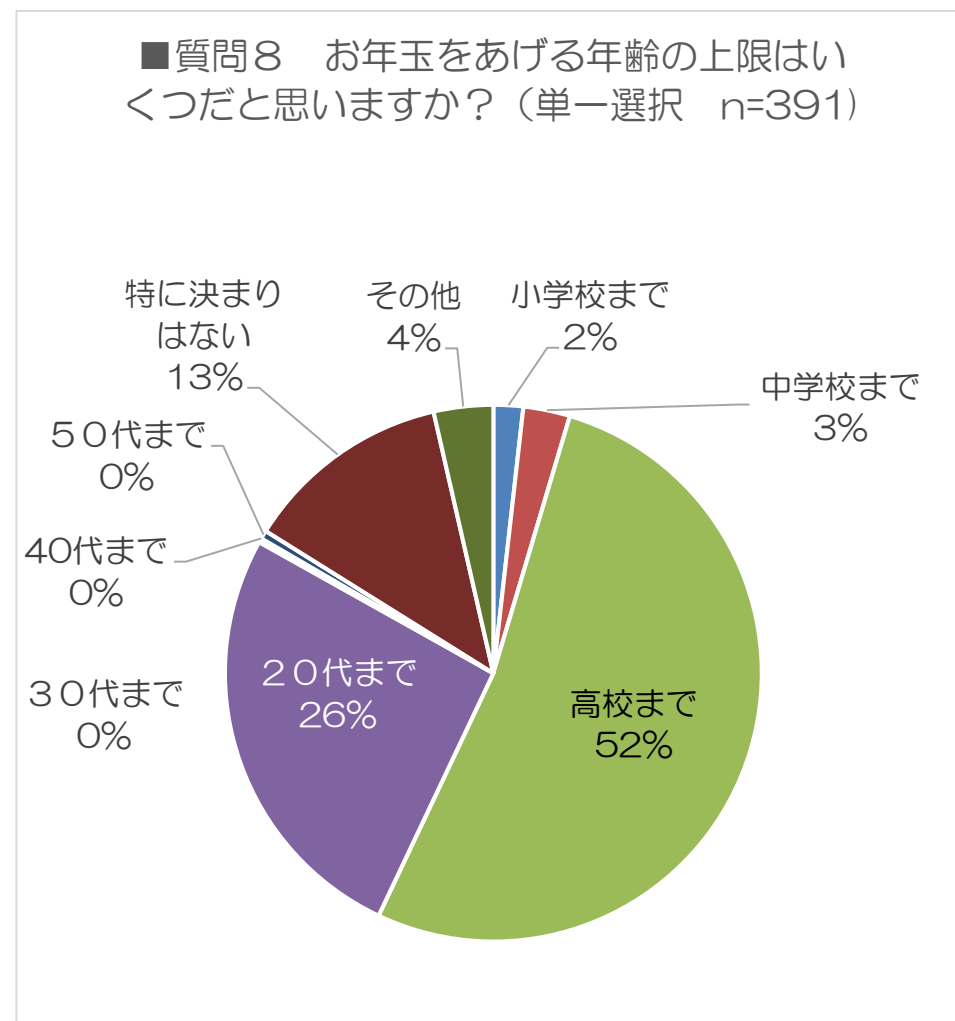
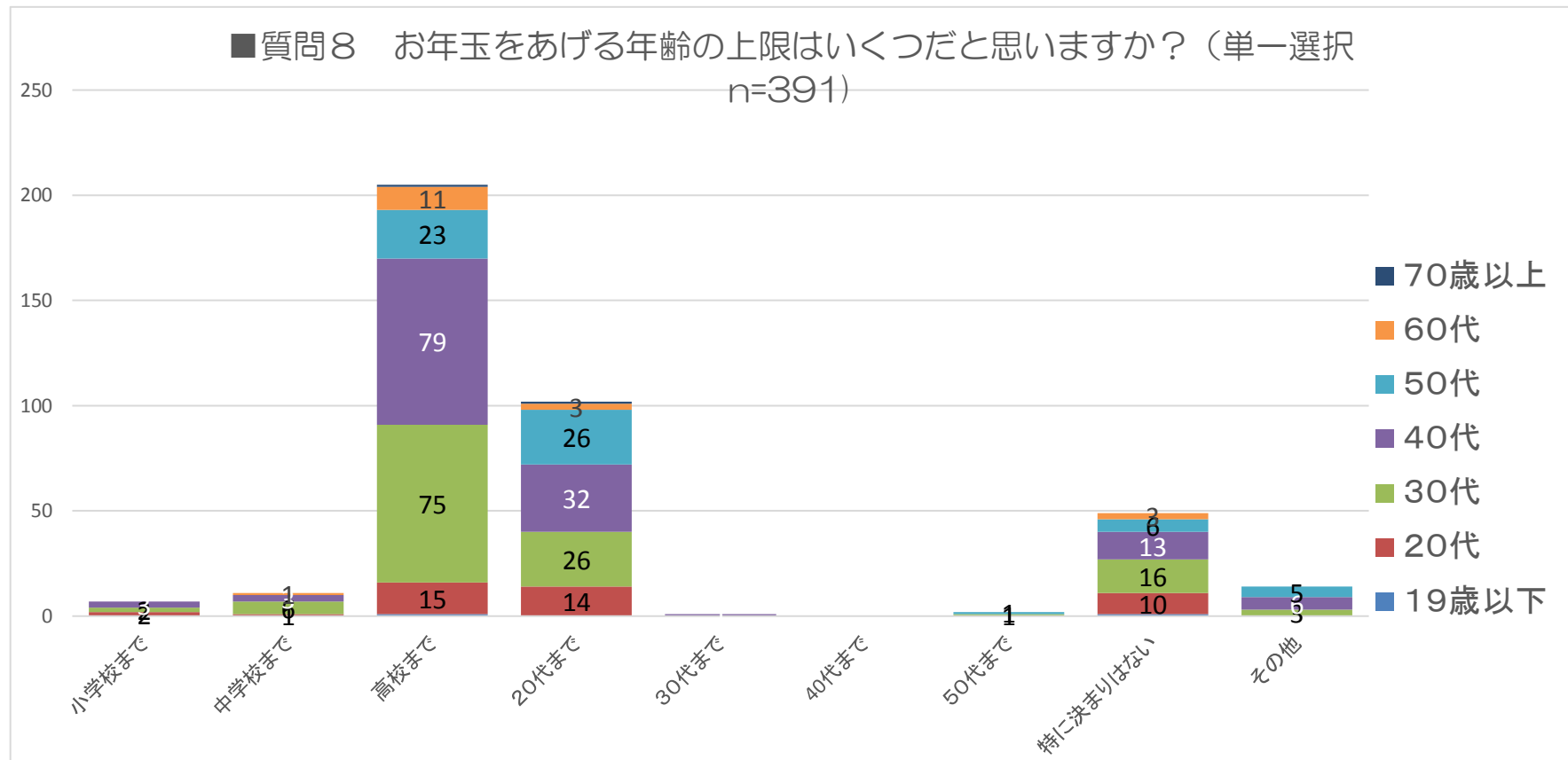
北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート



お年玉をあげる年齢の上限についてお聞きしました。

お年玉をあげる上限は
 1位 高校まで(52%)
 2位 20代まで(26%)
 3位 特に決まりはない(13%)
 となっています。

5割以上の方が「お年玉をあげる年齢は高校まで」と答えています。

上の棒グラフで見ると
 30代・40代の答えは圧倒的に「高校生まで」でしたが、
 50代では若干ですが「20代まで」が多くなっています。

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

モニター総数 391名 (男性77名 女性314名)

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問9 お年玉の思い出、お年玉に対する意見(自由回答 一部抜粋)

【お年玉の思い出】

- ・息子に親や親戚から貰ったお祝い金や、お年玉で使わなかった分のお金はすべて息子名義で貯金しています。独立する時に持たせようと思っています。息子は今大学生ですが、もう100万円以上貯まっています。貯金ってコツコツ貯めることが大切なんですね。(50代:女性)
- ・4人兄弟だったのでまわりの友達より極端に少ない額だった。(40代:女性)
- ・おじいちゃんや、両親はお年玉袋にメッセージを添えてくれました。社会人になる最後のお年玉の時は、社会人おめでとのメッセージが添えてあったので、今も大切にしています。(30代:女性)
- ・おばあちゃんに毎年たくさんもらいました。感謝です。子供や親類の子供に返そうと思います。(40代:女性)
- ・お年玉は一年の中で一番多くお金を持っているので、レコード等を買いました。金銭感覚を養うためにも必要だと思うのですが、今は親戚が少なくてかわいそうですね。(30代:女性)
- ・お年玉は親からではなく親戚からもらっていました。自分の年齢や親せきによって額は一定ではなく、一番高い金額でくれたのが5千円でした。今の時代は兄弟の数も少なく不景気なのでお年玉の習慣はしなくてもよいと思います。(30代:女性)
- ・高校卒業するまで毎年親戚からお年玉を頂いてた。今自分がこうして勤めてみると、一生懸命働いて得た貴重なお金をこんな子供にくれていたんだあと改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。(20代:女性)
- ・子供が出来て、(その子が、親せきや親等から)はじめてもらった時、すごく嬉しかったです。(30代:女性)
- ・私は、弟が社会人になるまでお年玉をあげました。ある年には500円玉20枚とか、ある年には宝くじや図書カードやバスカードを入れたり、2011年には2011円あげたりと、新年早々弟と押し問答して笑い合ったりしていました。(30代:女性)
- ・自分が子供の頃お年玉を貰ってとても嬉しかった覚えがあります。子供たちにとって昔とお金の価値は違ってきているかも知れませんが、嬉しい気持ちは一緒なんだと思います。(40代:女性)
- ・親戚が多かったので一回りすると十数万円になった。使い道もなかったし、子供の頃は特にうれしくもなんともなかった。今だったらすごく喜ぶのに！(40代:女性)

【お年玉への意見】

- ・お金で人を判断するようになり、感謝の気持ちが今の子供にはないので高額なお年玉はよくないと思う。(60代:女性)
- ・お金持ちの社長の子供(親戚)にお年玉をあげる必要はあるのかなと思ってしまう。金額もはらなくてはいけなし。どうせ大したものには使っていないようなので、だったら自分の娯楽に使いたい。いつも節約しているので。(40代:女性)
- ・家庭をもってからも、両親が用意してくれていることに感謝しています。何かでかえしたいなあと思う。(30代:女性)
- ・我が家は小学生の子ども二人にあげています。クリスマスで欲しいものももらって、冬生まれのため、誕生日プレゼントなども祖父母からもらい、冬は何かと贅沢になってしまっています。そのため、親からはかなり小額のお年玉しかあげていません。(40代:女性)
- ・現在、姪、甥にあげる立場にあります。私は二人姉妹の為もあり、結婚前は多少多めの金額をあげており金額の設定は特に気にしていませんでした。夫は三人兄弟のため、あげる金額を兄弟で揃えるようにしているとのこと。それぞれがあげたい金額をあげれば良いと私は思うのですが、他のご家庭はどうされているのか疑問に思いました。(30代:女性)
- ・最近の親・親戚はお年玉を小さな子にまで高額を渡すすぎていると思います。(20代:女性)
- ・自分のころと、今では金額の感覚が違うので、妥当な金額がわからない(40代:女性)
- ・親戚で小学生までは学年×千円と決めている。(50代:女性)
- ・年々エスカレートしているようですしのお年玉だと喜ばなくなっている いっそ来年はあげないで見ようかと思う(60代:女性)
- ・先日買い物に行ったら6歳くらいの子がアイスを自分で注文してお年玉袋を出して払っているのを見ました。お金の使い方や大きさが分かってとてもいいことかと思いました。(50代:女性)

【お年玉の渡し方】

- ・お年玉と一緒に、スクラッチくじも入れてあげてます。とても喜ばれています。(40代:女性)
- ・10歳ぐらいだったと思うが、なぜかその年だけ祖父があみだくじを作っていて、お年玉を貰う前に引くように言われた。引いたら「5円払う」というところになって、たかだか5円だけれども「お年玉貰える日になんて人に払わねばならないのか」と不愉快だった。(40代:女性)
- ・むかし、親戚のおじさんは、硬貨をたっぷり用意してくれて、いとこみんなで現金つかみ取りをして、それがお年玉だった(40代:女性)
- ・正月に神棚に飾っています繭玉の木にお年玉袋をぶら下げます。それを小さな子供の順番に頂くのですが、そのお年玉の金額は、運次第♪ 毎年の泣き笑いが楽しかったです(50代:男性)
- ・母からもらうお年玉には必ず五円玉や五十円玉の穴に紐を通した「財布に入れるお守り」のようなものが同封されていました。(20代:女性)
- ・姪っ子にお年玉をあげるときは「宝探し」と称してゲームしています。なので見つけたが勝ちなので年齢が大きくても少額のものもあります。みんな必死ですよ。(40代:女性)

【お年玉をあげる年齢に関して】

- ・高校卒業後、働いているのでもらえないと思っていたら20まではオッケーと叔母に貰えた(30代:女性)
- ・お年玉をあげていた甥っ子たちが成人するので、今年で終わりで嬉しい。(30代:女性)
- ・学生等まだお年玉を貰ってもおかしくない年齢の場合と、本来ならあげる立場であろう社会人、または定年後の両親等、一括りに18歳といても金額には結構差が出るのではないのでしょうか。自分の場合は、高校まではあげます(上限1万円程度)が、それ以降はまだ学生であつてもあげません。社会人など論外です。それ以外ですと、自分が働いていてある程度の収入があった時は、親に数万円程度あげていました。(30代:女性)
- ・この年齢でも親からお年玉もらえるのがうれしいけど情けない。もっと高給取りだったらな～。(40代:男性)
- ・甥が高校生ではお年玉を楽しみにしていたのに、大学生になったらバイトで稼ぐからいらないと断ってきた。自分の時には考えられなかったの、ちょっとびっくりした。7歳下の弟に大学卒業まではお年玉をあげようと考えていたが(昔ね)当時の自分の給料より、バイトで稼いでいたのであげるのをやめた。(50代:女性)
- ・ひいばあちゃんが母に今でもあげていまして微笑ましくなりました。(20代:男性)
- ・社会人になってからも、祖母からお年玉をもらってしまいました。残念な孫ですよ。(30代:女性)
- ・祖父は「社会人になったらお年玉はあげない」という方針。私もそれに賛成しているが、私が社会人入試で大学に入ったら「学生だから」と、お年玉をくれていた。お金の問題ではなく、孫には甘いところが大好きだ。(40代:女性)
- ・働き始めたらあげない(20代:女性)

北海道のくらしアンケート くらしく アンケートレポート

第147回アンケート お年玉アンケート

アンケート実施期間 2013年1月3日～1月28日

モニター総数 391名（男性77名 女性314名）

調査方法 全国のくらしく登録モニターへインターネットアンケート

■質問9 お年玉の思い出、お年玉に対する意見 続き(自由回答 一部抜粋)

【子から親へのお年玉】

- ・子供にお年玉を貰いましたが、添え書きがあって嬉しくて使わずにずうっとタンスにしまってます。(60代:女性)
- ・子供からもらい感激した(50代:女性)
- ・ずっと親からお年玉をもらっていたのが、結婚して子供が生まれて子供に貰うようになってから両親にお年玉をあげるようになったとき、なんだか、自分が成長した事を実感し、親が老いていくことを実感した。(30代:女性)
- ・初めて仕事を始めての年に両親にお年玉を上げたらすごく喜んでくれたことを思い出しました。(40代:女性)
- ・息子が就職して、お年玉を私たちにくれるのが夢です(50代:女性)
- ・お年玉は成人してからは祖母にあげていた。(30代:女性)

【その他】

- ・お年玉、もらったお金はどこへやら... (20代:女性)
- ・お年玉の金額がある年から急に減額になり、子どもながらに不況をかんじた。(20代:女性)
- ・お年玉をあげて、「何買うの？」と質問すると「貯金する！」と言っていたこと。最近の子供は現実的なんだなと感心しました。(40代:女性)
- ・金額ではなくてもらえることが嬉しかったです。(30代:女性)

たくさんのご意見ありがとうございました。

回答の中で「18歳以上ですすでに働いている人は、お年玉をあげる立場にもあるため、質問の中でも、お年玉をもらうだけではない」という意見をもらいました。今回の「お年玉アンケートに関しては、「お年玉っていつまでもらうの?」「年代別にいくらくらいもらっている、あげているの?」を中心にアンケートを行いました。

今回のアンケートをまとめていて分かったこと

①お年玉は歳時の「慣習」としての側面と、「ギフト」としての側面があります。

「慣習」とは自由回答にもあった通り、「子供たちの金銭感覚の育てる」や「兄弟・親戚で」あげる額を決めておく「働き始めたらお年玉はあげない」など、

ルールを決めて行事を行う考え方ですね。

「ギフト」というのは、成長した子どもたちが、「やっと親にお年玉を渡せるようになってうれしい」「お金ではなく、お菓子などをあげる」「ゲームで金額を決める」などの贈り物としてのお年玉です。

お年玉＝お金 という直接的な形のため、とらえ方は様々あるようです。「大人になってもお年玉をもらうのはおかしい」と考えることはたぶん「躰」の見方であったり、「祖母が母にお年玉をあげるのを見てほほえましく思った」という意見は、子供とのつながりを大事にする「親の心」かもしれませんね。

調査集計:株式会社オミセネット url:<http://omisenet.com> mail : info@omisenet.com